

駐在地方公務員等連絡協議会・クリアソウルセミナー報告

ソウル事務所

「韓国駐在地方公務員等連絡協議会」は、韓国に駐在している日本の地方公務員の方々等に、韓国の政治、経済、文化等についての理解をより一層深めていただくとともに、普段は各派遣先で別れて勤務している会員同士がネットワークを構築し、今後の業務遂行の一助とすることを目的として設置されています。

今回は、2011 年 5 月 12 日～13 日の日程で 24 人の参加を得てクリアソウルセミナーを実施しましたので、その概要について報告します。

1 主な日程の概要

(1) 慶尚北道道庁訪問

今回のセミナーの共催者である慶尚北道庁を訪問しました。ソン・セジユ国際関係諮問大使による挨拶のほか、慶州市で開催される慶州世界文化エキスポ（2011 年 8 月 12 日～10 月 10 日）の紹介、慶尚北道における多文化共生政策等についての説明がなされ、訪問教育や外国人労働者数等について活発な質疑が行われました。



慶尚北道庁訪問の様子

その中で、ソン・セジユ国際関係諮問大使からは、まず東北地方の大震災についてのお見舞いが述べられたほか、慶尚北道と日本との間には、歴史的に深い関わりがあるが（出雲神話等に記載あり）、現在においても、旭硝子や東レをはじめ、約 40 社ほどの日系企業が道内に存在するなど、日本との深い関係が続いているとの説明がなされました。

(2) 亀尾国家産業団地視察

亀尾（クミ）市は、慶尚北道の西南部にあり、ソウルから 277.5km、釜山から 167km の地点に位置する人口 39 万人の都市です。

亀尾国家産業団地は亀尾市にある国家産業団地で、電子・半導体産業の重点的育成を目的として設立された団地です。現在第 4 団地まで完成し、さらに第 5 団地が造成されています。



亀尾国家産業団地

こちらでは、亀尾市担当者から、産業団地全体を見渡せる展望台において、産業団地の概要や経済自由区域等について説明がなされました。

みな熱心に説明を聞き、こちらでも亀尾市独特の取組みである 1 社 1 公務員制度（企業 1 社毎に担当職員を指名）等につき活発な質疑応答がなされました。



亀尾市担当者による説明の様子

(3) 朴正熙元大統領の生家視察

当初は、国家プロジェクト（四大河川事業）の 1 つである洛東江の事業個所視察を予定していましたが、直前の大雨により現場視察ができなくなったため、急遽予定を変更し、漢江の奇跡と呼ばれる韓国の成長を主導し、農村の近代化（セマウル運動）など幾多の功績により現在でも国民に敬愛されている朴正熙元大統領（第 5 代～第 9 代）の生家を訪問しました。

(4) 伝統古民家での宿泊

韓国の伝統的な古家屋に 1 棟あたり 2～3 名に分かれて宿泊をしました。

当日の夜は少し冷え込みましたが、オンドルのお蔭で快適に過ごすことができ、朝鮮王朝時代のソンビ（学者）の生活に思いをはせる貴重な時間となりました。



宿泊先の伝統古民家

(5) 陶山書院視察

朝鮮時代の儒教教育機関である陶山書院を訪れました。

陶山書院は、韓国紙幣の千ウォン札にも登場する人物であり、韓国を代表する儒学者である李滉先生（1501～1570）が、自らの学問研究と、後進の育成にあたるため建てた書堂です。先生のもとには多くの若いソンビ（学者）たちが集まり、70 歳で亡くなるまでに 320 名の弟子を育てました。そして、先生の没後、弟子や儒学者たちがその功績を



陶山書院視察の様子

たたえるために、先生を祀る祠などを増築し、書院として完成させました。今も韓国社会の底流にあるソンビ達の精神文化について学ぶことができました。

（*ソンビとは寛大で学識の高い人物を指し、特に儒教的な理念を社会に具現する人物のこと。）

(6) 世界文化遺産意見交換会（安東市役所訪問）

安東市は、慶尚北道北部に位置する人口約 20 万人の都市です。

安東市役所を訪れ、副市長を表敬するとともに、同市にある世界遺産の河回村（ハフェマウル）とその保護につき説明をいただきました。

河回村は、川（洛東江）が村を取り囲み、S 字状に流れてはまた戻る地形から河回と名付けられました（マウルは村を意味します。）。典型的な両班家屋が当時の面影のままに残っており、2010 年 8 月 1 日に世界文化遺産に指定されました。村には現在もなお 120 余戸約 290 人ほどの人が実際に居住し、生活を続けていることも特徴です。（*両班とは高麗、李氏朝鮮時代の支配階級に位置する身分のこと。）

こちらにおいても文化的価値が高い建築物の保護と住民利用の両立といった課題などにつき活発な質疑がなされ、時間の都合で打ち切られるほどでした。

2 所感

今回は、1 泊 2 日の行程で慶尚北道庁の多大なるご協力により無事にセミナーを終えることができました。ご尽力頂いた慶尚北道ご担当者はじめ、ご協力いただいた皆様に、お礼申し上げます。

韓国全土に散らばっている日本の地方公務員が一堂に会する機会はほとんどなく、当協議会が唯一の場となっています。それ故に事務局としては、各地方公務員の方々の所在把握等大変な面がありますが、今回の参加者の方々からは、「ネットワーク構築の貴重な機会であった」、「韓国の歴史・文化・地理に理解を深める貴重な機会であった」等の声が多数寄せられました。行程の都合上時間が十分に取れない視察先があったなど、今後改善を要する点はあるものの、参加者の皆様にはご満足いただけたのではないかと考えています。

連絡協議会事務局としては、今後も参加者の方々の声をもとにより深く韓国を理解できるような企画を練って参りますので、皆様のご参加をお願いします。

CLAIR

（石塚所長補佐 鹿児島県派遣）